

2024 度理工学研究科物理学専攻

大学院新入生歓迎講演会

6 月 28 日（金）17:10 ～ 18:10（5 限）

会場：A302 教室

「流体物性の高精度レオロジー計測から見えること」

講師：平野太一准教授

みなさんは「レオロジー」という用語あるいは言葉を耳にしたり、目にしたりしたことがあるだろうか？（私の講義を少なからず通ってきた学生さんには、きっと浸透してきているに違いない、と信じてはいるが…）レオロジーを私なりに解釈するなら、モノの変形や流動に対する力学応答の性質を調べることで、モノ自体の良し悪し（好き嫌いともいえる）を判別したり、改質や改善の手掛かりを掴んだりするための“道具”と捉えることができる。力を加えたらどう動くのか？どのような反応を示すのか？という（物理学科のみなさんにとっては、おそらくとても）単純な問いに向き合うだけで、日常を豊かで快適にしてくれるかもしれない、そんな可能性を秘めているのがレオロジーであると感じている。講演では、レオロジー物性を明らかにするために自らが開発した新しい計測手法について、従来法が抱えていた問題点に触れながら詳しく述べる。また、この新手法の測定精度を向上させたり、測定の適応範囲を拡張したりするために、自身が辿ってきた様々なチャレンジとその成果について、物理的な視点が果たした役割やある種の失敗談も踏まえながら紹介したい。そこに、大学院での研究やその先の進路での活躍につながるような何かが見つかれば、幸いである。

* 講演終了後、学食（2F）にて懇親会を開催します。

講演会 & 懇親会幹事：鈴木秀彦 suzuhide@meiji.ac.jp 内線(7347)